※令和４年度以降入学生用

学校番号	406

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	実用書	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道Ⅰ、書道Ⅱの授業で学んだことを発展させて、実用書ではより高度な用筆法による表現の違いや、生活や社会に即した、創造的な書表現を学びましょう。
・篆、隷、行、草、楷書、仮名、変体仮名に至るまで様々な書体を体験し、筆の弾力を使いこなし、自分らしい文字を書くことが出来るようになることをめざします。
・刻字やうちわ作品を作ることで生活の中に書を生かし、書を愛好する心情を育てます。

2　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1)書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、創造的に表現するための技能を身に付けるようにする。
(2)書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に深く構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。
(3)主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、書の伝統と文化を尊重し、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について深く理解している。 ・書の伝統に基づき、作品を創造的に表現するための技能を身に付け、表している。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて深く構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の創造的な表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	漢字の書	・楷書(高貞碑・楷書前後出師表巻)行書・草書(喪乱帖・蜀素帖)隷書(礼器碑)及び篆書(散氏盤)の古典臨書を通じて、表現形式に応じた全体の構成と、漢字の書を構成する様々な要素を理解する。 ・漢字の書の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら、表現する。(うちわ作品)(半切作品)	a:漢字の書を構成するさまざまな要素について、深く理解している。 a:書の伝統を踏まえ、各書体の特色を生かして創造的に表現する技能を身に付けている。 a:線質、字形、構成等の要素と書の美の多様性、日本及び中国等の書の伝統とその背景となる諸文化等との関わりについて理解を深めている。 b:主体的な構想に基づく個性的、創造的な表現を追及している。 b: 鑑賞に関わる知識を生かして、書の普遍的価値や、書論を踏まえた書の芸術性について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 c:漢字の書の伝統と文化を尊重し、主体的に創造的な表現や鑑賞活動に取り組んでいる。	作品	プリント	振り返りプリント 観察

※令和４年度以降入学生用

２学期	刻字	・刻字を構成するさまざまな要素、書体・書風や配字等による表現の効果を理解する。 ・刻字の表現形式に応じた全体の構成、感興や意図の応じた個性的な表現について構想し、工夫しながら表現する。	a:用具・用材の特徴、書体や書風、配字による表現効果との関わりについて理解している。 a:選文や印稿の制作、布字、運刀の技能、書体や書風、配字や構成を生かして表現する技能を身に付けている。 a:線質、字形、構成等の要素と書の美の多様性、日本及び中国等の書の伝統とその背景となる諸文化等との関わりについて理解を深めている。 b: 書体や書風、配字や構成を構想し、意図に基づいて表現を工夫している。 b: 鑑賞に関わる知識を生かして、書の普遍的価値や、書論を踏まえた書の芸術性について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 c:刻字の伝統と文化を尊重し、主体的に創造的な表現や鑑賞活動に取り組んでいる。	作品	プリント	振り返りプリント 観察

※令和４年度以降入学生用

	仮名の書	・臨書を通じて、古筆（平仮名・変体仮名・片仮名）の表現形式に応じた全体の構成と仮名の書を構成する様々な要素を理解する。 ・古筆の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら、表現する。（創作）	a：仮名の書を構成するさまざまな要素について、深く理解している。 a：書の伝統を踏まえ、仮名の書の特色を生かして創造的に表現する技能を身に付けている。 a：線質、字形、構成等の要素と書の美の多様性、日本及び中国等の書の伝統とその背景となる諸文化等との関わりについて理解を深めている。 b：主体的な構想に基づく個性的、創造的な表現を追及している。 b： 鑑賞に関わる知識を生かして、書の普遍的価値や、書論を踏まえた書の芸術性について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 c：仮名の書の伝統と文化を尊重し、主体的に創造的な表現や鑑賞活動に取り組んでいる。	作品	プリント	振り返りプリント 観察

※令和４年度以降入学生用

3学期	漢字仮名交じりの書	・目的や用途、表現形式に応じた全体の構成と漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素を理解する。 ・感興や意図に応じた、漢字（楷書・行書・隷書・草書）と仮名（平仮名・片仮名）の調和等による、全体の構成を工夫しながら、表現する。（掛け軸作品）	a：現代の社会生活に生きる様々な書の表現とその要素について、深く理解している。 a：書の伝統を踏まえ、目的や用途、意図に応じて創造的に表現する技能を身に付けている。 a：線質、字形、構成等の要素と書の美の多様性、日本及び中国等の書の伝統とその背景となる諸文化等との関わりについて理解を深めている。 b：主体的な構想に基づく個性的、創造的な表現を追及している。 b： 鑑賞に関わる知識を生かして、書の普遍的価値や、書論を踏まえた書の芸術性について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 c：漢字仮名交じりの書の伝統と文化を尊重し、主体的に創造的な表現や鑑賞活動に取り組んでいる。	作品	プリント	振り返りプリント 観察

※　表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度